

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和3年度第3回愛川町社会教育委員会議		
事務局 (担当課)	教育委員会生涯学習課 内線3642		
開催日時	令和4年2月25日(金) 午後1時30分～午後3時10分		
開催場所	文化会館3階 大会議室		
出席者	委員	12人 (別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	7人 (教育長ほか6人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由	-		
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 令和3年度下半期生涯学習課事業について ◇生涯学習課事業報告 ◇生涯学習学級・講座事業報告 (2) 令和3年度下半期スポーツ・文化振興課事業について (3) 補助事業について (4) 社会教育委員の活動について 4 閉会		

審 議 経 過

(1 / 9)

主な内容は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言、◎は講師の発言)

1 開会

2 あいさつ

萩原議長

佐藤教育長

3 議題

(1) 令和3年度下半期生涯学習課事業について

<事務局から説明> 生涯学習課事業報告について

生涯学習学級・講座事業報告について

<質疑応答> 次のとおり

○(委員A) こども110番の家設置に関して、1月～3月に青少年指導員等による見直し作業とは、どのような方法で実施しているのか。

○(委員B) 例年だと一軒一軒対面で行っているが、このような時期なので、継続の可否、ステッカーの状態、子どもの駆け込みの有無等について、紙に書いて入れて確認している。

(2) 令和3年度下半期スポーツ・文化振興課事業について

<事務局から説明> スポーツ・文化振興課事業報告について

(3) 補助事業について

<事務局から説明>

<質疑応答> 次のとおり

○(委員C) 補助事業の交付額を見ると違いがあるが、どのような根拠で額を決めているのか。

審 議 経 過

(2 / 9)

<p>●（生涯学習課） 各団体の人数や活動内容、これまでの実績等を鑑みて設定している。</p>
<p>○（委員C） 補助金が減額となっている中で、苦勞しながら活動しているが、単子ども会にも いただけたらありがたい。</p>
<p>●（生涯学習課） 補助金に関しては、令和3年度の額を決定する際に、コロナ禍ということも あり、町の財政状況等を加味し、どの団体も減額させていただいている。今後も、各団体の活 動状況を見て、意見交換をしながら、補助金交付額を決定していきたいと考えている。</p>
<p>○（委員D） 資料に前年度との対比を記載すると、もっとわかりやすくなると思う。</p>
<p>○（委員E） 補助金交付額に差があるが、子どもたちの育成に関わる活動をしている中で、大変 な思いをしている。使わない分は返さなくてはならない。通常通りに事業が実施できない中、 方法を模索している。活動地区によって額が異なるが、育成会等には区からも補助がある。子 ども会には補助がないところもあるのでは。</p>
<p>○（委員C） 団体によって性質が異なることは理解している。</p>
<p>○（委員E） 町が交付しているのは、各地区の団体への補助もあり、町全体の組織への補助もあ る。対象の人数は異なるが、もう少し予算があれば活動しやすいところはあると思う。</p>
<p>●（生涯学習課） 金額については、今後も各団体と相談していきたい。社会教育委員会議とし ては、補助対象として適しているか協議していただく。</p>
<p>○（委員E） 中止となり補助金額が交付されていないものは当初は予算を立てていたのか。</p>
<p>●（スポーツ・文化振興課） 中止となった段階でゼロとなった。かながわ駅伝については予算 の段階で中止が決まっていた。</p>
<p>○（委員E） 令和4年度はまた計上されるのか。一度ゼロとなると予算が戻らないわけではない</p>

審 議 経 過

(3 / 9)

のか。

- (スポーツ・文化振興課) ゼロになる前の数字で、必要経費として計上し、予算を要望している。

(4) 社会教育委員の活動について

各委員より、所属団体の事業等について報告があった。

- (PTA連絡協議会) 昨年12月13日に役員会を開催し、通学路の危険箇所について地域みんなで声を挙げていった事例、役員の負担軽減のための活動の新しい見直しを進めている事例の紹介があった。翌日の14日に旧半原小学校木造校舎「懐かしの学び舎」見学、服部牧場で乳しぼりとバターづくり体験を行った。現地集合、現地解散して感染対策をしながら、地元を向けて愛川町の魅力を再発見する目的で、母親委員会が主体となって運営をした。研修視察の内容を掲載した3月1日発行のマザーズネット2号を配ったので後で目を通していただきたい。2月に予定していたPTA活動研究大会が2年連続中止で書面発表となった。後日、保護者の手元に届くようになっている。今後もPTAの在り方自体が難しくなっていくのではないかと思う。他県で、市のPTA団体が県のPTA連絡協議会にたった1つになり、コロナ禍の中で運営の仕方を模索した結果、市内だけのPTAでよいという結論に至って脱退すると報道されていた。PTAが任意団体ということで、町においても、最近は新入生説明会で必ず告知して了承して入っていただかないとコンプライアンス的に問題がある。告知をするということは、辞めたいと言われたときに断ることができない。今後これは問題になる。学校に通っている子の家庭でもPTAに加入しないという状況が愛川町にも来るのかと。今のところ町内では任意なのでPTAを辞めたいという報告は聞いていないが、今後マスコミ等で騒がれると

審 議 経 過

(4 / 9)

P T Aにも加入しないとなるのでは。P T Aに入らなければ子ども会も自治会も入らないことも考えられ、危惧している。このような中で、明治7年の創立で令和5年に150周年を迎える小学校が町内に3校ある。県内をみても150年続いている学校は少ない。150周年を前に閉校になった学校もある。簡単そうに見えて150周年を迎えるのは大変だと思う。150周年イベントを来年実行する事務局を立ち上げたので地域と学校で連携し、引き続き頑張っていきたい。

○(婦人団体連絡協議会)12月までの活動は報告したが、最後の参加が海老名市文化会館で行われた人権問題の講演。その後、今年2月18日に、茅ヶ崎市文化会館で、2団体が環境問題や人権問題等テーマをしばらくこれからどう生かすか、どうしていきたいかなどを発表する活動研究大会を予定していたが、昨年はコロナの感染予防で中止になり、今年も1週間前に中止になってしまい、とても残念な思いをしている。そして、P T Aに関心がないという話もあったが、町の婦人団体、半原、高峰、中津婦人会の中で、半原と高峰が3月をもって脱会となる。残る中津の婦人会は頑張っていこうと前向きに考えていて安心しているが、こういった会員の人数が減るとい現象は町だけの問題ではない。県内で婦人団体があるのは、相模原、茅ヶ崎、厚木、海老名、秦野、綾瀬、寒川、愛川、清川。婦人団体は9つの市町村で活動している。問題点はいろいろあるが、若い人の加入がなく、婦人会の会員は高齢化し、次の役員のなり手がいない。会員が減り、コロナのせいで皆がこもってしまい、できることもできないと思ってしまう。だから、会員の減少についてこれからどうしたらよいか悩み、本当に困っている。中津の婦人会はもう少し頑張ろうという気持ちがあるが、ぜひ皆さんの協力、ご助言をいただきたい。

審 議 経 過

(5 / 9)

○ (子ども会連絡協議会) いずれの行事もできていない。ふれあいレクリエーション、交流行事も実施できていない。ふれあいレクリエーションに関してはコロナ対応をしながら実施したいという思いが強いが、子どもたちに何かあったら学校に迷惑をかけてしまうという心配がある。交流行事もコロナ対応をしながら実施したいが、バスを使用するので、保護者が子どもたちを行かせるのかという心配もある。また、コロナのため、資源回収の説明会も美化プラントの職員から対面で説明を聞くことができず、書面での説明だけしかないので心配している。今後どう工夫していくのかということが大きな課題である。

○ (青少年指導員連絡協議会) 大きな事業はできていないが、昨年度中止になった今21歳の方々の「再会のつどい」が行われ、写真撮影ができたことはうれしかった。午後は感染対策をしながら2部制で成人式が行われ、青少年指導員がうまく見守ることができ、お祝いすることができたのでよかった。こども110番の家の確認作業は、情報交換して工夫しながら、ポストに入れたり、一軒、一軒電話をしたりして確認している。青少年指導員がサポートしている愛川町ジュニアリーダーズクラブに関しては、昨年度11月に「あいかわこどものまち」を実施。報道もあったが、お花屋さん、和菓子屋さん、消防、ネイリストの職業体験をして、今回受けた子どもたちが来年度は自分たちが講師になって他の子どもたちに教えてあげるという形で企画した。子どもたちは目をキラキラさせながら参加してくれて、講師も子どもたちの笑顔からパワーをもらったと喜んでくれた。来年度の11月には開催することができればよいと思っている。ジュニアリーダーズクラブは月に一回会議を行っているが、2月は中止、3月は延期して実施を予定している。

○ (スポーツ推進員連絡協議会) 委員が22人いるが、集まって開催することが難しい。10月

審 議 経 過

(6 / 9)

に書面で会議を開催して、それを元に11月に企画部会を開催し、今年度の残りの活動について話し合った。その結果、第1号公園の環境整備をした。コロナ対策に合わせ、トレーニングルームの機材を移動した。それと同時に野球のグラウンド整備を行った。続いて2月にスポーツ推進委員独自の研修会を実施しようとしたが、コロナ感染拡大によって中止になってしまった。また、1月にモルックの体験教室があり、スポーツ推進委員も視察を兼ねて参加してみようという話だったが中止になってしまい体験できなかった。その中でスポーツ推進だよりの発行に向けて12月に広報部会を開いた。現在、ほぼ完成している状態で、3月中旬に各家庭に配布される予定なので目を通していただければうれしい。それから2月に委員2名が神奈川県のスポート推進功労者表彰を受賞した。顔を合わせたときには声をかけてあげてほしい。

○（地区健全育成組織連絡協議会）1月16日に健全育成大会が開催される予定だったが、今年度は書面発表になった。手元にある2地区の青少年健全育成の事例発表は、ぜひ目を通していただきたい。私の地区では、1月16日人を集めた形でどんど焼きを行った。どんど焼きは、無病息災を祈る伝統行事で、昨年はお焚き上げだけだった。どんど焼きは伝統行事なので、コロナ禍の中でも感染に気をつけながら実施していきたいと思った。

○（文化協会）昨年と同様、事業は何もできなかった。前回の会議の中で報告した「ねんりんピックかながわ2022」が今年11月12日から11月15日にかけて行われる。愛川町では将棋を担当し、会場は第1号公園体育館を予定している。文化協会としては、町のPRを兼ねて写真や花を展示し、おもてなしをする予定。花は半年前から準備しなければならないこともあり、間に合わないと思うので、クラブ毎に話し合って準備してもらっている。

○（スポーツ協会）全般的に昨年度に引き続きコロナ感染拡大の影響によりスポーツ活動の自粛

審 議 経 過

(7 / 9)

が余儀なくされたが、団体によっては規模縮小と人数制限をしながら、野球、バレーボール、卓球、テニス、ソフトボール協会の5協会は町総合体育大会を開催し、陸上、剣道、レクリエーション、ゴルフ、テニス、ターゲットバードゴルフ、ペタンクの7協会がスポーツ教室を開催した。秋のスポーツレクリエーションフェスティバルは中止となり、その代替事業としてスポレクに協力予定だったラグビーチーム三菱重工相模原ダイナボアーズに協力をいただき、11月に少年少女ラグビー教室を開催することができた。来月にはSC相模原に協力いただき、少年少女体験教室を開催する予定。なお、2月27日に予定していたスポーツ協会主催のスポーツセミナー「セルフケア&体軸トレーニング」は、まん延防止期間が延長になったので、止むなく中止になった。また、毎年度末に発行しているスポーツ協会情報誌「健康の光」45号は、3月15日発行に向けて事務局で準備している。先日北京オリンピックが閉幕し、3月4日からはパラリンピックが開幕する。さきのオリンピックではスケート、スキー、モーグル、スキージャンプ、カーリング様々な競技で日本人選手が大活躍し、改めてスポーツは人に夢と希望を与え、心と体を豊かにする大事な文化の一つであると感じた。まだ新型コロナの影響で先行きの見えない情勢だが、スポーツ協会としては引き続き加盟協会やスポーツ団体関係の皆様にご協力をいただきながら活動を展開していきたい。

- (小中学校校長会) 早いもので中学校の卒業式まであと8日。そして小学校の卒業式まであと17日となった。今年度も感染対策のために卒業生、その保護者、教職員のみでの参加となった。学校の一番の行事なので、子どもたちが楽しい思い出を胸に新しい旅立ちに向かえるように準備を進めていきたい。1月末には小中学校で新入生保護者説明会があり、新年度に向けて準備をしている。2月の半ばはオミクロン株の感染拡大が大きかったが、中学校では高校入試が行

審 議 経 過

(8 / 9)

われた。生徒によっては別室受験もあったようだが、中学校の先生から無事に終わったと聞いて安心している。今は各学校で卒業生を送る会の準備をしているが、一斉に集まることができないため、ビデオや放送を使う形で進めている。各校のブログにもその様子は上がっているので見ていただきたい。また、保護者には子どもたちの検温、体調の悪い時は無理させないようにお願いしている。また、地域の皆様には学校でクラスターを発生させないように、今までやっていた活動を無理せず考えてくださって学校にとって本当にありがたいと思っている。その中で、小中学生は、登下校の際「おはようございます」「おかえり」と声をかけてもらい、地域の皆様から元気をいただいている。小中学生にも、小中学生があいさつしてくれてとてもうれしいと地域の方が言っていると話すのが喜びなので、これからもあいさつをしていただけるとありがたい。

○（委員A）特に活動してないが、町を挙げてのふるさと祭りや駅伝、そして公民館でのいろいろな事業も中止になり、非常に残念だと思っている方が大勢いると思う。この間、担当のかたはYouTubeを配信したり、成人式を2部形式にしたり、本当に苦勞、工夫をされていたと会議資料を見て思った。事業が再開されたときには、きっと皆さん新鮮な気持ちで向き合えるのだと思う。特に子ども会など地域で子どもを育てていく中で、子どもたちがいろいろな事を経験して思考力や判断力、社会性を培っていくのだが、それが今できないのでどうなっていくのか心配な面がある。

○（委員F）マザーズネットは、昔、母親委員の活動を知らせたいと第1号を発行した。その当時はこのような立派なものではなく、全部手書きで作った。今はこのような立派な紙面になってうれしく思う。今、PTAにしても子ども会にしても、役員のなり手がいないとかやりたくな

審 議 経 過

(9 / 9)

いという方もいるが、こんなに楽しいことがあるともっともっと宣伝するとやりがいをもって楽しく関わっていただけるのではないかと思う。私は2年間母親委員を務め、バスで町内の文化財を説明してもらい、経験させていただき本当に楽しい2年間だった。そういうことをもう少し皆さんに知っていただけたらと思う。また、主任児童委員として小学校の頃から関わってきた子どもが進学することができた。保護者が心配されていたが、土曜寺子屋や公民館での勉強会に毎週自転車で参加し、部活も頑張っていたので、このように頑張っている子どもをみんなで応援していきたい。

○（委員C）ねんりんピックかながわの11月12日土曜日はふれあいレクリエーションの日になっている。老人会や長寿会の手伝いはどうなるのか。

●（生涯学習課） 11月12日土曜日文化会館で14時頃、開会セレモニーが開かれる。13日日曜日に第1号公園で将棋の試合がある。12日土曜日文化会館には、今のところ老人クラブからの手伝いがあるが、ふれあいレクリエーションには影響が出ないように調整を行いたい。

4 閉会

<木藤副議長より>

会長(委員長)
署名欄

木藤 元

令和3年度第3回愛川町社会教育委員会議

(敬称略) *新規

選出区分	氏名	備考	出欠
学識経験者	はぎわら のぶもと 萩原 庸元	社会福祉協議会会長	出席
	きとう みちこ 木藤 美智子	元教員 元公民館長	出席
	ほんだ てるみ 本多 照美	主任児童委員 子ども会連絡協議会理事	出席
学校教育関係者	かたやま ちかこ 片山 智絵子	小中学校校長会代表	出席
家庭教育関係者	とみざわ こうぞう 富沢 公三	P T A連絡協議会代表	出席
社会教育関係者	さいとう みつえ 齋藤 光枝	婦人団体連絡協議会代表	出席
	おおや なおかず 大矢 直和	子ども会連絡協議会代表	出席
	かや たかゆき 茅 孝之	青少年指導員連絡協議会代表	出席
	やまぐち あつし 山口 淳	スポーツ推進委員連絡協議会代表	出席
	のぐち まさひろ 野口 昌宏	地区健全育成組織連絡協議会代表	出席
	なるせ かずはる 成瀬 和治	文化協会代表	出席
	こぎの きみお 古座野 君夫	スポーツ協会代表	出席

(令和3年5月1日～令和5年4月30日)